

2024. 2. 22 岩倉市健幸づくり推進委員会 意見

1 前回調査との比較について

回収数はほぼ同数であっても、年代別の回収率は違うのに比較できるのか。

→【3ページ】比較に使用した調査の実施概要を掲載しました。

2 【前回】10 ページ ⑤職業 職業×年代別の比較

高齢者の仕事をしている割合が高いと健康寿命が延びるという説がある。

最終評価、次期計画策定の課題、対策を検討する内容に向けて集計すると良いのではないか。

→【10 ページ】高齢者で職業を持つ人のサンプル数をみると、

60 歳代で働いている人…回答者のうち 85 人(69.7%)

「会社員、公務員(団体職員、個人企業・商業等の従業員を含む)」が 35 人

「自営業(商業、工業、農業、サービス業など)」が 12 人

「パート・アルバイト」が 38 人

70 歳以上で働いている人…回答者のうち 42 人(19.4%)

「会社員、公務員(団体職員、個人企業・商業等の従業員を含む)」が 8 人

「自営業(商業、工業、農業、サービス業など)」が 16 人

「パート・アルバイト」が 18 人

となっています。仕事を持つことは人との関わりや役立ち感等を持てることから、心身の健康に良い影響を及ぼすことが考えられ、今後、高齢期の健康づくりにおいても重要な要素になると思われます。

3 【前回】15 ページ 問 5 画面を見る時間 職業×年代別の比較

働く世代は、パソコンで仕事をする時間が長い。

高齢者は、テレビがつけっぱなしで、テレビがついている時間が長いだけではないか。働く世代と余暇時間が長い世代で、画面の見方が違ってくる。

→【16 ページ】職業別×年齢別クロス集計を追加しました。

4 【前回】39 ページ以降の食事の質問について 世帯×年代別×食生活の比較

例えば、70 歳以上で 1 人住まいの食生活と、若い世代で家族が複数いる人の食生活の集計結果で今後の施策が違ってくるのではないか。

→【40 ページ、42 ページ】「問 8 あなたは、朝食を食べますか。」「問 9 1 日に 2 回以上主食・主菜・副菜を 3 つそろえて食べることが週に何日ありますか。」で世帯別×年代別クロス集計を行いました。

5 【前回】66 ページ以降のストレスについて 性別×職業別×ストレスの比較

→【69 ページ】「問 27 あなたは、最近1か月間に、ストレスを感じましたか。」に性別×職業別クロス集計を追加しました。

6 【前回】96 ページ 問 36 歯の健康の知識について

20 歳代以下で「知らない」が 51.8%と他の年代と比較して高いと記載があるが、母数が少ないので、その分析で良いか

→【96 ページ】30 歳代も含めた文章に変更しました。

7 【前回】55 ページ 問 20 果物について

果物は価格高騰しており、経済的に余裕がある人でないと買わない。

まずは、主食主菜など必要なものを食べるので、栄養的に必要でも真っ先に切り捨てる。

また若い世代はサプリで栄養補給する場合もある。前回調査と比較して「食べない」が上昇しているから単純に施策に入れるのはどうか？

アンケート結果をどのくらい計画に生かすのか。丁寧に比較して計画に生かしてほしい。

→ご意見を施策検討に生かしてまいります。